

# 令和5年度 業務計画書

[ こども劇場課 ]

## 1. 事業方針

### 『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』

やまびこ座、こぐま座が担うべき役割は、社会的情勢や行動変容に伴い変化し続けている。これまでの、多くの子どもたちが人形劇や児童劇等の生の芸術文化に触れる機会の提供を中心とした「鑑賞型事業」から、近年の生活様式の変容や人口減少に伴う子どもの数の減少によって「体験型事業」にシフトしてきた。そして、これからはSDGs(持続可能な開発目標)が示す“誰一人取り残さない”世界を目指すための共生社会の構築、多様な価値観を許容できる社会づくりに文化芸術が貢献していかなければならないと考える。子どもから大人まで様々な人間同士がお互いを理解し合い、共に創造的な活動を行うことで心豊かな活力ある社会形成につなげていく。

これまでのやまびこ座、こぐま座が持つ創造性や、「人を育てることが文化を育てる」という人材育成を柱に、関係団体と共に公演事業、創造型事業を推し進める。また、子どもから大人まで、様々な世代への育成事業を積極的に展開することで、人形劇、児童劇等の裾野を拡げ、さらに若い世代が指導者として次の世代への育成を担う流れをつくることで、持続可能な劇場づくりを目指す。

コロナ禍で子どもたちの体験機会が減少した昨今、劇場が取り組んできた子どもたちの文化体験機会を守る活動等が注目され、北海道内外の行政機関や公共施設、学校教育現場、地域町内会等からの相談や依頼が増えている。これまでの経験や技術、様々な文化団体・関係機関とのつながりや連携をより強固なものとし、劇場の文化芸術にかかわるスキルを生かし、札幌市内から札幌市近郊の札幌圏、全道規模へ発信を広げ強化していく。

こぐま座・やまびこ座・中島児童会館が、子どものための専門施設として連携を強化し、それぞれの施設が持つ特性を生かしながら、人材育成事業や、全市的なイベント等を実施し、文化発信拠点として特色ある運営を目指す。

令和5年度はやまびこ座が開館35周年を迎える。記念事業として節目のイベントも織り交ぜ、良質な舞台芸術の創造発信、継続的な文化体験機会の創出を図り、未来ある子どもたちの夢と可能性を拡げ、子ども文化の必要性を社会に伝える。

## 2. 重点目標

### (1) 地域活動等事業

#### ア 子ども文化の創造と発信による新たな可能性

- ・外部からの依頼事業、連携事業
- ・専門アーティストとの協働

### (2) 施設運営等事業

#### ア 夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり

- ・劇場が日常化し、地域に開かれた場として誰もが集う場所に
- ・夢や笑顔を交わすことで生まれる創造的な取組を支援
- ・創造の場となることで、地域コミュニティの発展を支える場を形成

#### イ 共生社会の実現に向けた劇場運営

- ・多様性を認め合える社会に向けた取組
- ・ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の機能を有した文化芸術事業の拡充
- ・誰もが文化芸術・体験の機会を享受し、創造者として参加できる相互共生社会の構築

### ウ 子ども文化の裾野を拓げていくための人材育成の取組

- ・人材育成は劇場運営の根幹
- ・子どものための舞台の担い手である市民劇団を育成する
- ・段階に応じたメニューの提示

### エ 子どもたちへ芸術の鑑賞及び体験機会の拡充

- ・コロナ禍で舞台、文化芸術体験の機会が乏しくなった現状から、機会を拡充する取組によって子どもたちの心の豊かさを取り戻す
- ・市民劇団の育成 活躍の場、機会の提供
- ・やまびこ座35周年記念事業

### オ こぐま座、やまびこ座、中島児童会館の3施設連携による事業の拡充

- ・児童会館部門との連携による、遊びを含めた子ども文化の裾野拡大
- ・全市の子どもたちを対象にした、特色ある事業の実施
- ・子どもにかかわるスキルの共有による発展的事業の実施

## 3. 数値目標(具体的な根拠を示すこと)

### 【共通】①利用者総数 70,000人(やまびこ座55,000人、こぐま座15,000人)

令和元年度	75,983人(やまびこ座44,466人、こぐま座31,517人)
令和2年度	35,350人(やまびこ座25,005人、こぐま座10,345人)
令和3年度	39,101人(やまびこ座26,174人、こぐま座12,927人)
令和4年度	54,000人(やまびこ座33,000人、こぐま座21,000人 見込)

### ②事業プログラム参加者総数 24,000人

令和元年度	31,007人
令和2年度	13,739人
令和3年度	16,097人
令和4年度	19,700人(見込)

### ③利用者アンケートにおける満足度 90.0%

令和元年度	90.0%
令和2年度	99.8%
令和3年度	99.2%
令和4年度	99.5%(見込)

### 【部門】①新規人形劇団の誕生及び育成 3劇団

令和元年度	3劇団
令和2年度	6劇団
令和3年度	4劇団
令和4年度	5劇団(見込)

### ②年間上演日数及び公演数 上演日数240日 公演数400回

令和元年度	上演日数237日 公演数367回
令和2年度	上演日数181日 公演数254回
令和3年度	上演日数193日 公演数289回
令和4年度	上演日数258日 公演数392回(見込)

### ③障がい児との文化芸術推進事業の実施 3事業 <新規>

令和元年度・令和2年度	-
-------------	---

令和3年度	1事業
令和4年度	2事業(見込)

4.事業実施計画書(地域活動等事業)

ア 子ども文化の創造と発信による新たな可能性

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	外部からの依頼事業・ 連携事業  【共通】 (レベルアップ)	各劇団、団体との共催により、良質な人形劇、児童劇の作品を提供する。併せて地方公共団体・他団体・教育機関等から依頼を受け、札幌市内外の人形劇団の協力を得ながら、人形劇等の公演、ワークショップ、短期講習会のコーディネートを行う。 (内容)共催公演・団体観劇・依頼公演	【R4年度実績予測】 [時期・回数] 通年・年10回	企画事業 5,000 利用料金 30	(3,800)
			【R5年度】 [時期・回数] 通年・年15回	企画事業 500 利用料金 100	(350)
2	専門アーティストとの 協働  【共通】 (継続)	良質な舞台作品を上演するために、公益財団法人北海道演劇財団等の団体と協力し、専門アーティストとの演劇や舞踊等のワークショップ等を行う。 (内容)プロデュース人形劇巡回公演におけるアイヌ文化理解促進のためのワークショップ 他	【R4年度実績予測】 [時期・回数] 12月・2月/2回	企画事業 2,000 利用料金 480	(2,000)
			【R5年度】 [時期・回数] 8月・10月/2回	企画事業 5,000	(4,300)
3	広域文化支援ネットワーク形成事業  【共通】 (新規)	これまで劇場が取り組んできた子どもたちの文化体験機会を守る活動、自然災害等の非常事態における文化的支援活動の取組で得た経験や技術を生かし、日本各地で起こる自然災害や子どもたちを取り巻く社会課題に対して、さまざまな文化団体・関係機関とのつながりを生かして文化的視点からの支援活動に取り組む支援ネットワーク体制を構築する。文化的スキルを有する劇場がセンター的役割を果たしながら、他団体と連携した事業を展開する。 (内容)①チャリティー公演の企画・実施 ②あそびを通じた交流広場の企画・実施 ③舞台体験プログラムの企画・実施 (人形劇体験ワークショップ・伝統芸能体験ワークショップ)	【R4年度実績予測】 なし	-	-
			【R5年度】 [時期・回数] 年3回 ※突発的な自然災害等の発生時を除く	企画事業 1,000 受取補助金 725	(1,450)

5.事業実施計画書(施設運営等事業)

(1)児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務

ア 公演事業

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	子どものための人形劇・児童劇公演 【共通】 (継続)	札幌市内のアマチュア劇団、北海道内外の専門劇団等が中心となり、良質な人形劇や児童劇の作品を市民に提供する。	【R4年度実績予測】 〔時期・回数〕 通年・400回	利用料金 800	(0)
			【R5年度】 〔時期・回数〕 通年・400回	利用料金 1,000	(0)
2	やまびこ座 開館35周年記念事業 「札幌国際人形劇 フェスティバル」 【共通】 (レベルアップ)	1988年に開館したやまびこ座の開館35周年を記念する事業として、札幌市内のアマチュア人形劇団、北海道内外の専門劇団を招へい等、様々なイベントを開催する。 札幌の子ども文化の可能性を発信する機会とし、やまびこ座が担ってきた役割を市民とともに今一度共有する機会とする。 ①35周年おめでとう公演 ②夏の特別公演&ワークショップ ③秋の特別公演 ④春の特別公演 ⑤児童会館巡回公演  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期・回数〕 ①- ②7~8月:6回 ③- ④3月 ⑤11月~3月:23回	入場料 329 受取補助金 1,560	(3,120) ※子ども 事業課 経費
			【R5年度】 〔時期・回数〕 ①7~8月:14回 ②7~8月:11回 ③9月17~18日 ④3月:5回 ⑤11月~1月:20回	入場料 1,500 受取補助金 1,000	(3,300)
3	野外人形劇シリーズ 【共通】 (継続)	北海道の豊かな自然環境を生かし、札幌ならではの野外人形劇を実施する。コロナ禍においての感染リスクを低減した野外劇場の効果を生かし、継続的な文化発信を目指す。 ①ピクニックシアターin中島公園 ②おそとで人形劇場 ~あおぞらキッズシアター& ほしぞらキッズシアター~  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕 ①9月10日、11日 ②5月~8月 〔回数〕 ①2回 ②20回	入場料 410 受取補助金 1,021	(2,042) ※子ども 事業課 経費
			【R5年度】 〔時期・回数〕 ①9月2日、3日 ②5月~8月 〔回数〕 ①2回 ②8回	入場料 370 受取補助金 3,200	(3,426)

4	プロデュース 児童劇公演  【やまびこ座】 (継続)	公益財団法人北海道演劇財団との協力事業として、舞台作品の素晴らしさを発信し、札幌の子ども文化への関心を高めていくことを目的として実施する。  [対象・定員] 2公演:小学生～大人・計300名  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕5月7日、8日 〔回数〕3回	入場料 150 受取補助金 844	(1,688)
			【R5年度】 〔時期〕5月27日、28日 〔回数〕2回	入場料 300 受取補助金 900	(1,200)
5	第52回 札幌人形劇祭  【やまびこ座】 (継続)	経験豊かな審査員から客観的な意見を聞く有意義な場として人形劇のコンクールを実施する。連続公演のほか経験者を対象にワークショップを実施するなど、作品の質的向上、劇団活動のレベルアップ、公演活動の活性化につなげる。 [対象]大人部門(一般の部、初心者の部) こども部門(小学生の部、中・高校生の部)  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕 本祭11月、表彰式及び受賞記念公演1月 〔回数〕 本祭1回(3日間)、表彰式及び受賞記念公演1回	参加料 51 入場料 269 受取補助金 531	(1,062)
			【R5年度】 〔時期〕 本祭11月、表彰式及び受賞記念公演1月 〔回数〕 本祭1回(3日間)、表彰式及び受賞記念公演1回	参加料 55 入場料 300 受取補助金 1,000	(1,280)
6	伝統人形芝居公演 『座・競演シリーズ』  【やまびこ座】 (継続)	日本各地の様々な劇団や多彩なジャンルによる伝統芸能の競演を行うことで、普段なかなか観劇することのできない日本の古典芸能の魅力を伝える。この企画により新たな利用者層の獲得につなげ、現在劇場で取り組んでいる「札幌人形浄瑠璃」を広く市民に伝える機会とする。 ①やまびこ座 ②福島県郡山市 [対象・定員]小学生～大人・各100名  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕 ①10月9日、10日 ②3月4日、5日 〔回数〕 ①公演2回 ②公演2回	企画事業 1,500 入場料 650 受取補助金 1,990	(4,910)
			【R5年度】 ①10月8日、9日 ②3月 〔回数〕 ①公演2回 ②公演2回	入場料 795 受取補助金 2,000	(1,900)
7	札幌劇場祭TGR (シアターゴラウンド)2023  【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座が入会する札幌劇場連絡会(市内の9劇場で組織)が主催して実施する劇場祭。各劇場が連携して企画公演を実施する。	【R4年度実績予測】 〔時期〕11月～12月 〔回数〕1回	受取補助金 90	(14)
			【R5年度】 〔時期〕11月～12月 〔回数〕1回	受取補助金 90	(20)

イ 講座事業

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	初心者のための 人形劇講座  【共通】 (継続)	札幌の人形劇の新しい担い手の育成を目的とし、劇場公演の活性化につなげる。やまびこ座、こぐま座それぞれ開講し、最終回として合同で修了記念公演を実施する。  〔対象・定員〕18歳以上・各10名	【R4年度実績予測】 〔時期〕4月～7月 〔回数〕全13回	参加料 52 入場料 18	(90)
			【R5年度】 〔時期〕4月～7月 〔回数〕全13回	参加料 80 入場料 30	(90)
2	人形劇スキルアップ 研修  【共通】 (継続)	人形劇団として活動を発展させていくために必要な知識・技術を学び、成果発表の場で発揮することで劇団としての活動の自立を目指す。最終回として修了記念公演を実施する。  ①経験者のための人形劇クリニック ②パペットカレッジ 〔対象・定員〕人形劇団・8劇団	【R4年度実績予測】 〔時期〕8月～1月 〔回数〕全20回	参加料 60 入場料 24	(200)
			【R5年度】 〔時期〕6月～3月 〔回数〕全20回程度	参加料 100 入場料 100	(185)
3	児童劇団育成事業  【やまびこ座】 (継続)	北海道内では数少ない児童演劇を上演する人材を育成し、児童文化を地域から発信していく。  ①児童演劇講習会 〔対象・定員〕18歳以上(高校生不可)・25名 ②第31期やまびこ座遊劇舎 〔対象・定員〕小学3～6年生・20名 ③第21期劇☆やまびこ座YOUTH 〔対象・定員〕中学生～高校生・20名  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕①7月～2月 ②5月～1月 ③8月～2月 〔回数〕①全12回 ②全30回 ③全18回	参加料 133 入場料 90 受取補助金 1,088	(1,795)
			【R5年度】 〔時期〕①6月～1月 ②5月～1月 ③8月～3月 〔回数〕①全20回 ②全30回 ③全18回	参加料 100 入場料 200 受取補助金 985	(1,150)
4	人形浄瑠璃講習会・ 義太夫講習会  【やまびこ座】 (継続)	大人を対象とした人形浄瑠璃と義太夫の講習会。北海道にはなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると同時に、札幌の文化を担う人材を育成することを目的とする。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用いて三人遣いの人形操作方法や人形浄瑠璃に欠かせない唄と三味線を学ぶ。  〔対象・定員〕18歳以上(高校生不可)・12名程度  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕各17回	参加料 180 入場料 29 受取補助金 1,888	(1,319)
			【R5年度】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕各18回	参加料 250 入場料 30 受取補助金 2,100	(2,250)

ウ 子どもの舞台表現活動の推進

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	パペットユース スクール  【共通】 (継続)	人形劇制作を通して子どもたちの可能性を拡げ、創造性や自主性を養うことを目的とする。また、表現活動を通じた仲間づくりなど中・高校生の受け入れの場とする。子どもたちが継続した活動を行えるよう支援し、将来の人形劇文化の担い手を育成する。  〔対象・定員〕中・高校生 15名	【R4年度実績予測】 〔時期〕6月～1月 〔回数〕全30回	参加料 45 入場料 18	(200)
			【R5年度】 〔時期〕6月～1月 〔回数〕全30回	参加料 60 入場料 30	(230)
2	ざ・にんぎょうじょうり ユースクラス  【やまびこ座】 (継続)	小学校6年生から高校生を対象にした人形浄瑠璃講習会。子どもたちの可能性を引き出す場とし、古典芸能の面白さを若い世代に伝え、将来の札幌の文化を担う人材を育成する。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用い三人遣いの人形操作を学ぶ。  〔対象・定員〕小学6年生～高校3年生・15名程度  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕全17回	※「人形浄瑠璃講習会」に含む	※「人形浄瑠璃講習会」に含む
			【R5年度】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕全18回	※「人形浄瑠璃講習会」に含む	※「人形浄瑠璃講習会」に含む
3	こぐま座 こども人形劇団  【こぐま座】 (継続)	小学生を対象に、人形劇を通じたグループ活動を実施する。子どもたちの舞台芸術活動の可能性を引き出すことを目的とし、表現の楽しさ、演じる喜びを体験できるプログラムを提供する。成果を発表する場として、人形劇の公演を行う。  〔対象・定員〕小学3～6年生・15名	【R4年度実績予測】 〔時期〕5月～3月 〔回数〕全40回	参加料 42 入場料 12	(50)
			【R5年度】 〔時期〕5月～3月 〔回数〕全40回	参加料 45 入場料 12	(200)
4	札幌市内児童会館 人形劇クラブ育成 事業  【共通】 (レベルアップ)	劇場の専門性を生かし、各児童会館の人形劇クラブなどの指導や育成と一緒に取り組むことで、子どもたちの新たな可能性を引き出す。また、子どもたちの芸術鑑賞及び体験機会の拡充を目指す。 ①児童会館人形劇クラブ ②世界人形劇の日 こどもフェスティバル(新規) ③お出かけ人形劇&舞台体験ワークショップ	【R4年度実績予測】 〔時期〕5月～1月	(内部取引) 2,500	(1,500) ※こども 事業課 経費
			【R5年度】 〔時期〕5月～3月	(内部取引) 2,500	(1,500) ※こども 事業課 経費



エ ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の機能を有した文化芸術事業の拡充 (単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	障がい児との文化芸術推進事業  【共通】 (新規)	障がい児と健常児が共に作品を創り上げる。それぞれの子どもたちの個性を知ることによって作品の持ち味にしていく。 ①障がい児と創る人形劇パペットシアター 「北のおばけ箱」公演 ②養護学校・特別支援学級での文化体験 ③劇場での障がい児や発達障害の子どもたちが体験できるワークショップ  ※文化庁助成要望事業	【R4年度実績予測】	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕3事業	受取補助金 1,500	(1,450)

オ 地域との共生および関係機関との連携 (単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	やまびこ座夏まつり  【やまびこ座】 (継続)	やまびこ座を利用する劇団や町内会等地域団体と協働で実行委員会を組織し、地域住民に向けたお祭りを実施し地域交流、地域貢献を図る。  〔対象〕幼児～一般	【R4年度実績予測】 〔時期〕 8月13日、14日 〔回数〕1回(2日間)	-	-
			【R5年度】 〔時期〕 8月12日、13日 〔回数〕1回(2日間)	-	-
2	中島児童会館・こぐま座開館記念祭「かもくま祭」  【こぐま座】 (継続)	中島児童会館と協働し、地域団体と連携を図りながら開館記念祭を実施する。近隣住民を中心に多くの市民が集い楽しむお祭りとする。両施設のPRを図る。	【R4年度実績予測】 〔時期〕7月2日、3日 〔回数〕1回(2日間)	-	※こども事業課経費
			【R5年度】 〔時期〕7月1日、2日 〔回数〕1回(2日間)	-	※こども事業課経費
3	札幌劇場連絡会  【共通】 (継続)	札幌圏にある劇場の発展や社会的地位の向上を図り、舞台芸術の振興及び舞台芸術による地域振興に資することを目的とした「札幌劇場連絡会」へ継続して加入する。札幌圏の劇場とのネットワークを拡充し、各団体との協働によって様々な事業を実施する。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	(10)

カ 社会貢献事業の取組

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	広域文化支援ネットワーク形成事業 【共通】 (新規) ※事業実施計画書 (地域活動等事業) 「ア-3」再掲	これまで劇場が取り組んできた子どもたちの文化体験機会を守る活動、自然災害等の非常事態における文化的支援活動の取組で得た経験や技術を生かし、日本各地で起こる自然災害や子どもたちを取り巻く社会課題に対して、さまざまな文化団体・関係機関とのつながりを生かして文化的視点からの支援活動に取り組む支援ネットワーク体制を構築する。文化的スキルを有する劇場がセンター的役割を果たしながら、他団体と連携した事業を展開する。 (内容)①チャリティー公演の企画・実施 ②あそびを通じた交流広場の企画・実施 ③舞台体験プログラムの企画・実施 (人形劇体験ワークショップ・伝統芸能体験ワークショップ)	【R4年度実績予測】	-	-
			【R5年度】 [時期・回数] 年3回 ※突発的な自然災害等の発生時を除く	企画事業 1,000 受取補助金 725	(1,350)

キ 展示室の活用、その他

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」 【こぐま座】 (継続)	歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、改めて札幌にとっての子どもの健全育成を図るための総合中心拠点として、全市的な市民PRを含め、広域的、先駆的な事業展開と人材育成を中心とした取組を行う。 ①資料室MA・SO・BOの企画・運営 ②企画展示(657美術館)、ワークショップ等の実施 ③「MA・SO・BO通信」発行等	【R4年度実績予測】 [時期]①通年 ②8回 ③6回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
			【R5年度】 [時期]①通年 ②8回 ③6回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
2	企画展示 【やまびこ座】 (継続)	劇場と地域、市民との出会い、交流の場を創出することを目的として実施する。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]3回	-	-
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]3回	-	-

3	市民ボランティア事業 【共通】 (継続)	劇場と地域、市民との出会い、交流の場をつくることを目的として実施する。 ①「読み語りの会」(やまびこ座) 毎週水曜日(長期休み・祝日を除く)ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み語りを実施する。 ②「おはなしの会」(こぐま座) 年20回、ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施する。 ③指人形制作(こぐま座) 人形劇観劇スタンプラリーでプレゼントする指人形を制作する。	【R4年度実績予測】 〔時期・回数〕 ①時期: 通年 回数: 40回 ②時期: 通年 回数: 20回 ③時期: 通年 回数: 12回	-	(120)
			【R5年度】 〔時期・回数〕 ①時期: 通年 回数: 40回 ②時期: 通年 回数: 20回 ③時期: 通年 回数: 12回程度	-	(155)
4	人形劇観劇 スタンプラリー 【共通】 (継続)	観劇者の増加、リピーターの確保を目的に、人形劇公演での観劇スタンプラリーを実施する。ボランティアの協力を得て製作した指人形を観劇回数に応じてプレゼントする。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	※「市民ボランティア事業」を含む
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	※「市民ボランティア事業」を含む

ク 中島児童会館との一体運営の中で生まれる施設づくり

(単位: 千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	中島児童会館・ こぐま座開館記念祭 「かもくま祭」 【こぐま座】 (継続) ※事業実施計画書 (施設運営等事業) 「オ-2」再掲	中島児童会館と協働し、地域団体と連携を図りながら開館記念祭を実施する。近隣住民を中心に多くの市民が集い楽しむお祭りとする。両施設のPRを図る。	【R4年度実績予測】 〔時期〕7月2日、3日 〔回数〕1回(2日間)	-	※こども事業課経費
			【R5年度】 〔時期〕7月1日、2日 〔回数〕1回(2日間)	-	※こども事業課経費

2	中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」 【こぐま座】(継続) ※事業実施計画書(施設運営等事業)「キ-1」再掲	歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、改めて札幌にとっての子どもの健全育成を図るための総合中心拠点として、全市的な市民PRを含め、広域的、先駆的な事業展開と人材育成を中心とした取組を行う。 ①資料室MA・SO・BOの企画・運営 ②企画展示(657美術館)、ワークショップ等の実施 ③「MA・SO・BO通信」発行等	【R4年度実績予測】 〔時期〕①通年 ②8回 ③6回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
			【R5年度】 〔時期〕①通年 ②8回 ③6回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
3	こどものまなび塾 【こぐま座】(継続)	児童文化に関わる外部講師を招へいし、子どもたちに関わる人材の育成を図る。将来的には修了者を児童会館でのボランティアスタッフや資料室MASOBOの活用につなげていくことを目標とする。  [対象・定員]18歳以上・30名	【R4年度実績予測】 〔時期〕8月～1月 〔回数〕20回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
			【R5年度】 〔時期〕8月～1月 〔回数〕20回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
4	こども文化セミナー 【こぐま座】(継続)	子どもの健全育成に関わる課題や子ども文化をテーマに外部講師による講演会やシンポジウムを実施する。  [対象・定員]18歳以上・80名	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕3回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕3回	※こども事業課経費	※こども事業課経費
5	ゆきあかりin中島公園 【こぐま座】(継続)	雪まつり期間中に毎年開催される事業として、中島公園や地域団体と連携し、観光振興を視野に全市的なイベントの一環として実施する。	【R4年度実績予測】 〔時期〕2月 〔回数〕2回	-	-
			【R5年度】 〔時期〕2月 〔回数〕2回	-	-

(2) 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報の収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

ア 情報の収集・調査研究・立案の計画

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	アンケート調査 【共通】(継続)	施設利用者(公演観覧者・劇団・主催事業参加者)に、劇場利用に関するアンケート調査を行う。 施設利用時の総合的な評価だけではなく、「公演で見てみたい演目」「参加してみたい事業」「施設への要望」等のニーズ調査も兼ねる。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	-

2	札幌市こどもの劇場及び札幌市こども人形劇場運営協議会 【共通】 (継続)	管理業務の状況報告や協議を行い、様々な意見を伺う機会とするため運営協議会を設置し、札幌市こどもの劇場(やまびこ座)、札幌市こども人形劇場(こぐま座)の管理運営水準の維持向上を図る。  〔対象〕運営協議会委員 4名	【R4年度実績予測】 〔時期〕11月・2月 〔回数〕年2回	-	(20)
			【R5年度】 〔時期〕10月・2月 〔回数〕年2回	-	(40)
3	利用者説明会 【共通】 (継続)	ホールをはじめとする貸室等の施設利用等の説明及び周知を行い、各団体による利用手続きの円滑化を図る。同時に、各劇団からの近況報告や周知の場も設定し、劇団同士の交流の場とする。  〔対象〕過去利用実績(概ね3年以内の利用)がある劇団	【R4年度実績予測】 〔時期〕12月・2月 〔回数〕各施設1回	-	-
			【R5年度】 〔時期〕12月・2月 〔回数〕各施設1回	-	-

イ 情報の提供

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	子どもに関わる舞台活動の拡充にかかわる情報の提供 【共通】 (継続)	子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報について、市民からの問い合わせや要望に速やかに対応するために常日頃から整理・保管を行い、適切に対応する。情報の提供時は、札幌市個人情報保護条例、その他関係法令に基づき、情報の取扱いに留意する。  〔対象〕市民	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	-
2	「こどもの劇場通信」発行 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等を紹介するリーフレットを定期的に発行し、広く市民にPRを行う。  〔発行部数〕8,000部	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕年6回発行	-	(1,428)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕年6回発行	-	(1,810)
3	やまびこ座・こぐま座LINE通信 【共通】 (継続)	LINE公式アカウントを開設し、観劇者、事業参加者の増加を目指し、公演情報や講座案内を配信する。気軽な情報ツールとして、より身近で訪れやすい劇場を目指す。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	-

## (3) 劇団育成支援に関する業務

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	劇団育成支援事業 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座を利用する劇団の育成支援事業を実施する。利用料金の一部負担を行うことで、劇団活動の活性化に結びつける。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	-
2	外部からの依頼事業・ 連携事業 【共通】 (レベルアップ) ※事業実施計画書 (地域活動等事業) 「ア-1」再掲	各劇団、団体との共催により、良質な人形劇、児童劇の作品を提供する。併せて地方公共団体・他団体・教育機関等から依頼を受け、札幌市内内外の人形劇団の協力を得ながら、人形劇等の公演、ワークショップ、短期講習会のコーディネートを行う。 (内容)共催公演・団体観劇・依頼公演 人形劇指導事業	【R4年度実績予測】 〔時期・回数〕 通年・年10回	企画事業 5,000 利用料金 900	(3,800)
			【R5年度】 〔時期・回数〕 通年・年15回	企画事業 500 利用料金 50	-
3	やまびこ座・こぐま座 LINE通信 【共通】 (継続)	LINE公式アカウントを開設し、観劇者、事業参加者の増加を目指し、公演情報や講座案内を配信する。気軽な情報ツールとして、より身近で訪れやすい劇場を目指す。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年	-	-
			【R5年度】 〔時期〕通年	-	-

## (4) 人形劇等の制作に必要な知識及び技術の習得等に関する指導・助言・相談業務

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	指導・助言・相談業務 【共通】 (継続)	舞台使用における照明・音響、人形劇等の制作、人形劇の人材育成指導者の育成など、舞台に関わる全般の指導・助言を行う。  ①指導・助言・相談業務(共通) ②砂川人形劇創作体験プログラム(やまびこ座) 砂川市地域交流センターゆう(NPO法人ゆう)の「人形劇講座」(小学生、中高年生、大人対象)に、講師の派遣と指導を行う。札幌の人形劇団との交流も支援する。	【R4年度実績予測】 〔時期〕①通年 ②6月～3月 (全20回)	企画事業 500	(226)
			【R5年度】 〔時期〕①通年 ②5月～3月 (全20回)	企画事業 500	(80)

## (5) その他、札幌市こどもの劇場及び札幌市こども人形劇場の設置目的達成に資する業務

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	やまびこ座・こぐま座 市民応援団 「ヤッホーの会」  【共通】 (新規)	より市民に親しまれ愛される劇場づくりを目的として「応援団」を設立する。年間パスポートの発行、寄付金制度、事業におけるボランティア参加を主な内容とし、利用者増と文化芸術活動の活性化を図る。  [対象] 幼児～一般	【R4年度実績予測】 なし	-	-
			【R5年度】 [時期] 10月・2月 [回数] 年2回	参加料 187	(135)

## (6) 自主事業

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	物品販売事業  【共通】 (レベルアップ)	NPO法人やともの会等の協力を得て、やまびこ座、こぐま座で手作り製品(ハンドパペット等)やオリジナル商品の販売を行う。人形劇公演時に販売を行うことで、公演の集客、活性化を図る。	【R4年度実績予測】 [時期] 通年	物品販売 360	(350)
			【R5年度】 [時期] 通年	物品販売 530	(215)

(公財) さ活協育 第 3214 号  
令和 5 年(2023 年)3 月 31 日

札幌市長  
秋 元 克 広 様

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会  
理 事 長 野 崎 清 史

令和 5 年度 札幌市こども人形劇場管理業務における自主事業計画(案)の承認について

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の活動並びに取り組みに対する深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記施設の指定管理に関する協定書第 37 条 2 に基づき、自主事業計画(案)を策定いたしましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

#### 記

- 1 名 称 物品販売事業
- 2 目 的 市民サービスの一環として、ハンドパペットやオリジナルグッズ等の販売を各公演時に行うことで、集客の一助やリピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図ることを目的とする。
- 3 内 容 物品販売事業
  - (1) 収入見込額 150,000円
  - (2) 販売方法 専用カウンター設置によるによる対面販売
  - (3) 品 目 ハンドパペット、バッジ、ポストカード、ストラップ等のオリジナルグッズ
  - (4) 単 価 市価相当の50円～900円を予定
- 4 実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 5 その他
  - (1) 自主事業は指定管理業務に支障の無い範囲で行い、事業ごとに区分して経理します。
  - (2) 自主事業収入については、劇場事業費の一部に充当することとし、市民に還元します。
  - (3) 自主事業の内容等については、札幌市と適宜協議を行い実施して参ります。

以上